

さんぼみち

発行者

兵庫県立総合リハビリテーションセンター
リハビリテーション中央病院
〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727
FAX (078) 925-9203

ホームページ <http://www.hwc.or.jp/hospital/>



ひと切断者と機械(義足)のよい関係を目指して

整形外科

今回はインテリジェント義足について少しふれました。大腿切断者がインテリジェント義足を装着すると、健常者と同じように歩けると述べましたが、残念ながら全ての人ができるようになるわけではありません。インテリジェント義足は科学の粋を結集した高度な機能をもつ義足(機械)です。義足の機械的な機能だけからみると、切断者なら誰でも簡単に健常者と同じように歩けるかのような錯覚をもってしまいます。切断患者さんだけでなく、多くの医療関係者たちもそのような錯覚(あるいは期待)をもってしまったのです。義足というものは、切断端を収めるソケットというものを通じて切断者とつながっているのです。つまり、ソケットを介在してひと(切断者)と機械(義足)が一体となっているのです。この点が、他の障害者のリハビリと大きく違うところです。機械の性能があまりに良すぎるので、ひとが何らかの訓練(努力)をしなければ、その機械の性能を十分に発揮させることができずに持て余してしまいます。わかりやすく例えるなら、我々一般人がF1レーシングカーに乗ったところで、ろくに運転ができないのと同じことです。従って、健常者と遜色のない歩き方をマスターするためには、切断者がインテリジェント義足を使いこなすための特別な訓練が必要となるのです。我々(理学療法士、エンジニア、義肢装具士、医師)は暗中模索の結果、インテリジェント義足に必要な訓練の仕方を見つけることができ、現在切断者の方に実践しています。一人でも多くの切断者の方が健常者と同じように歩けるようになってもらえるように。

自然放射線とは？

その1 - 大地からの放射線 -

放射線科

自然放射能とは、X線発生装置などを使って作り出す人工放射線と違い、普段私達が生活するなかで天然に存在している放射線です。そのなかには宇宙から飛んでくるものや、地球にある天然の放射性物質から出てくるものがありますが、今回はその中で「大地から出てくる放射線」についてご説明いたします。

大地からの自然放射線には主に、カリウム40、ルビジウム87、ウラン238など地球の誕生時から地殻中に含まれている天然の放射性同位元素から出てきます。これらを私達は大地から常に被曝しているのです。

しかし、同じ日本国内でも地域によって地層が異なるため大地からの放射線量に誤差があります。例えば、関西地域では放射性同位元素を多く含む深成岩が地表近くにあるため年間1mSv(ミリシーベルト)程度の放射線を大地から受けています。これに対し関東地域では、富士山の噴火による火山灰でできた関東ローム層が岩盤をおおい大地からの放射線をしゃへいしているため年間0.5~0.6mSv程度の放射線を受けています。

また、季節、気候によっても大地からの自然放射線量は異なります。積雪の多い地方では、雪が放射線のラドン222ガスを閉じ込め、岩盤からの放射線をしゃへいしますので、冬の間は大地からの自然放射線量は少なくなります。雨の降り始めでは、空気中に浮遊していたラドンなどが雨によって落下するため自然放射線量は多くなります。

このように、大地からの自然放射線の量はその地域の地質構造の違いや、季節・気候などの環境条件によって異なります。

もちろんこれらの放射線の量は人体に害のない程度なため心配する必要はありません。

薬剤性味覚障害について

薬剤部

薬の中には、食物の味が全くななくなったり、甘味、苦み等がわからなくなる味覚障害を起こすものがあります。

味覚は、舌の味蕾(つぶつぶ)が刺激を受け、その刺激が神経を通過して脳の味覚中枢に伝わることにより、感じられるものですが、味蕾には、亜鉛が含まれており、刺激を伝えるのに大切な役割を果たしています。

亜鉛とくっつきやすい薬の場合、食物中の亜鉛と結合してしまい、亜鉛が体に吸収されにくくなり、味蕾への亜鉛の供給が低下し、味覚障害を起こしやすいと考えられています。

治療には、一時薬の服用を中止したり、亜鉛を補給したりします。薬を服用中に味がおかしいと感じたら、医者又は薬剤師に相談して下さい。

亜鉛の多い食物

かき(貝)、チーズ、獣鳥肉類、アーモンド等

